

留 学 報 告 書

記入日:2017年9月1日

所属学部／研究科・学科／専攻	政治経済学部/経済学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア大学バークレー校 現地言語: University of California at Berkeley
留学期間	2017年5月～2017年8月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2017年8月20日
明治大学卒業予定年	2019年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期: 2学期: 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	40173人(2016年秋)
創立年	1868

留学費用項目	現地通貨 ()	円	備考
授業料		927980円	
宿舍費		635749円	
食費		100000円	
図書費		40000円	
学用品費		5000円	
教養娯楽費		70000円	
被服費		30000円	
医療費		0円	
保険費		27760円	形態:
渡航旅費		126720円	
雑費		20000円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計		1983209円	

渡航関連

渡航経路: 成田空港～サンフランシスコ(ソウル経由) ニューヨーク～羽田空港(香港経由)

渡航費用

チケットの種類 itinerary

往路 _____

復路 _____

合計 _____ 126720 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

H.I.S

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)

大学の寮

2) 部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 _____)

3) 住居を探した方法:

先輩から情報を入手。インターネット

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

私が滞っていた際には様々な国の留学生がいたため、その国について話を聞くことができたり、一緒に勉強したり観光に行ったりすることができた。

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

寮内の友達、先生等。一度も使用していないが相談窓口は存在する。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

友人から情報を聞く。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

携帯電話は SIM カードを現地対応のものに変えていなかったため、外出時のインターネット使用不可。寮内では WIFI 接続が可能なので、パソコン・携帯電話共に使用可能

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

手元にある自分の現金を現地通貨に変換。基本はクレジットカードを使っていたため資金調達する必要はなかった。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

特になし

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

支払い時期は 2~3 月。履修科目を登録した段階で発生する。支払いはクレジットカードで行う。

卒業後の進路について

1) 進路

<input checked="" type="checkbox"/> 就職	<input type="checkbox"/> 進学	<input type="checkbox"/> 未定	<input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など			
特になし			
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。			
留学先で投資やマーケティングについて深く学んだため、これらの科目に関連する業界を志望すると思う。			
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。			
留学先で出会った友達は自分の将来に対する明確なビジョンを持っていたので、私も負けないよう帰国後の就職活動を精力的にか集おうと思った。			
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。			
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。			
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。			

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
14 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
International Trade	国際経済学
科目設置学部・研究科	Economics
履修期間	5/22~6/29
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	lecture(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 120 分が 22 回
担当教授	Calanit Kamala
授業内容	基本は講義形式で国際経済学について授業をする。授業の最後に復習テストを気まぐれで行う。最後の方にグループプレゼンテーションも行う。
試験・課題など	problem set という大きな課題が 3 回。レポートが 1 回。中間テストと期末テストが 1 回ずつある。
感想を自由記入	英語での授業に手間取ったが、ミクロ・マクロ経済学の基礎を理解できていれば思ったより区ではないと思う。
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Investment	投資
科目設置学部・研究科	Undergraduate Business Administration
履修期間	5/22~6/29

単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	Lecture+Discussion(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 150 分が 16 回
担当教授	Sam Olesky
授業内容	授業は投資商品・実際の運用方法について学んだ。
試験・課題など	成績に影響するような課題はなし。試験は中間と期末一回ずつ。記述式。
感想を自由記入	最も自分を苦しめた授業。基礎知識がなかったので専門用語を英語で覚えていないと何を言っているのか分からない。テストも難しく、テスト対策に四苦八苦した。元々株に興味があり、この授業で得た知識を使って帰国後に投資を始めたいと思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Marketing	マーケティング
科目設置学部・研究科	Undergraduate Business Administration
履修期間	7/3~8/10
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	Lecture including discussion(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 150 分が 17 回
担当教授	David Robinson
授業内容	マーケティングの基礎について授業の半分、実際の企業の事例を用いたケーススタディを残りの半分で行う。
試験・課題など	試験はマーク式で簡単。課題はレポートが数回出される。採点基準が厳しいため課題の方が難しい。
感想を自由記入	試験は簡単で成績に影響する割合も小さい。この授業で最も苦労したのは participation で毎回の授業で発言ができなければ加点されず、授業の予習が必須である。手を挙げていなくても強制指名されるので常に準備をしなければならず、非常にきつかった。授業内容自体は面白かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
College Writing 8 integrated skills	英語
科目設置学部・研究科	English as a second language
履修期間	7/3~8/10
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	discussion(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 150 分が 23 回
担当教授	Beth Wadell
授業内容	週ごとに与えられるテーマに沿って、ディスカッションをしたりプレゼンテーションを行ったりした。外出してフィールドワークなども行った。テーマは主にカリフォルニアの文化について取り上げられた。
試験・課題など	週に一回自分のラジオの収録。映画の感想。プレゼンの準備など。試験はなく、課題と期末レポートとプレゼンで成績をつける。
感想を自由記入	この授業はスケジュールの都合上、元々取っていた授業の変更を余儀なくされたことで取った授業だが、この授業が私が履修した中で一番楽しめたと思う。少人数授業によりほかの生徒たちとの距離も近く、すぐに仲良くなることができた。テーマも私にとって興味深いものだったため、真剣にかつ楽しみながら授業を受けられたと思う。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験，期末試験，その他イベント等

2016年 1月～3月	
4月～7月	留学説明会に参加。ACE を履修
8月～9月	語学勉強
10月～12月	目標スコアの達成(TOEIC) 出願&選考
2017年 1月～3月	語学勉強。履修登録等の必要手続きの開始
4月～7月	ビザ申請。荷物等の留学準備。5/21 出発 SessionA 5/22~6/29(中間・期末あり)
8月～9月	SessionD 7/3~8/10(中間・期末) 終了後は旅行。20 日帰国 書類提出
10月～12月	
2018年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	私が留学しようと思ったきっかけは留学説明会でした。入学当時の私は留学には興味がありませんでしたが、政治経済学部がほかの学部よりも留学を推進している学部だということを知って一度説明会に行ったところ、提携している大学の数が多く、そしてどの大学も非常にレベルの高い大学がそろっていて驚きました。そこで私は一度でもいいから留学に挑戦してレベルの高い大学で授業を受けてみたいと思って留学してみようと思いました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	基本的に語学力を向上させることが重要です。現地に行っても英語が話せなければ相手とコミュニケーションをとることが難しいので、語学力の向上に集中して取り組みました。しかし、現地に行き実際に授業を受けて思ったのは、英語で授業に受けておくことに慣れておくべきだったと思いました。日本で受けてきた授業とは形式がぜんぜん違うので、授業の対応することに四苦八苦してしまいました。幸い明治大学には英語で行われている授業があるので、何度か英語で講義を受けておくと対応しやすいと思います
この留学先を選んだ理由	私がカリフォルニア大学バークレー校を選んだ理由は二つあります。一つは私が留学に行くことができる大学の中で最もレベルの高い大学だったからです。留学志望で述べたとおり、私はレベルの高い大学で講義を受けてみたいと思っており、バークレー校は私の英語スコアで行ける範囲で一番優秀な大学だったので志望しました。二つ目は私が学びたいと思っていた経済・ビジネス系の科目が充実していることです。特にバークレー校には有名なビジネススクールがあり、そこで学んでみたいと思ったからです。
大学・学生の雰囲気	カリフォルニア大学バークレー校は設備が充実していてとても過ごしやすかったです。勉強施設は図書館やカフェを利用でき、運動したいときは寮の近くにあるジムに行き体を鍛えていました。植物園や博物館もあり、飽きることのない生活を送れました。学生、特に現地の生徒は親切で分からないところがあったら優しく教えてくれたり、勉強に苦しむ中で何度も助けてもらいました。また、現地の生徒は授業に対する姿勢が真剣で、日本との授業風景の違いに驚きました。
寮の雰囲気	寮にはビリヤードや卓球ができるゲーム部屋や集中して勉強することができる図書室などいろいろな設備が備わっていました。広いラウンジには大きいテレビがあり、マリオカートなどのゲームで遊んだりスポーツ観戦をしたりしました。水曜の夜にはコーヒアワーというコーヒを飲みながらいろんな人と話すことができる場が設けられていて、そこで交友関係を広めることができました。各セッションの始まりでウェルカムパーティーがあり、そこでも新しく入寮した学生と交流する機会がありました。
交友関係	留学してからはじめの一週間は戸惑いも多くあまり自分から話しかけることができませんでしたが、一度話してみるとフレンドリーに接してくれてとても話しやすかったので、以降いろんな人に積極的に話しに行くことができるようになりました。寮での友達も仲がいいですが、特に仲良くなれたのは語学の授業で一緒だった人たちです。授業が終わった後屋敷飯を食べに出かけたり、一緒に観光に行ったりしました。あとはジムで知り合った人と一緒にトレーニングしたりしました。
困ったこと、大変だったこと	留学で大変だったことはやはり勉強です。私は英語での授業にあまり慣れていなくて、発言を求められたときに何度かフリーズしてしまうなど、留学してから数週間は授業に対応することで頭がいっぱいでした。課題も日本の授業とは比べ物にならないくらいに多く、徹夜で宿題をやることも珍しくありませんでした。授業に慣れてから外出するようになりましたが、バスの運転手がいきなり予定外のところで止まり休憩し始めたときはもうダメだと思いました
学習内容・勉強について	私は経済学とビジネス科目を履修していました。経済学は元々ある程度の知識があったので専門用語も理解でき、あまり苦労することなく授業を受けることができました。しかし、ビジネス科目に関しては今まで学んだことが一切ないため授業を受けても何を言ってるのか理解できず、予習と復習に膨大な時間を費やしました。授業でわからなかったところを授業後に教授に質問しても聞き取れずに理解できないところがあったので、許可をとってからメールでの質疑応答をするようにしていた。
課題・試験について	課題に関しては先述のように膨大な量を課されました。レポートやプレゼンテーションなど様々な課題に取り組みましたが、どれも難しく終わらせるのに膨大な時間がかかり、平日はほぼ徹夜で課題に取り組んでいました。試験は科目次第ですが記述式が一番厄介でした。当然すべて英語で解答するので授業内容を頭に叩き込み、英語で書けるようにするのにかなり苦労しました。試験前は睡眠時間はほとんど取れず、死に物狂いで机に向かっていました。

大学外の活動について	私が外出していたときに会った日本人の方が三菱東京UFJで働いている人だったので、後日その方と一緒に食事をしながら、就職活動の話や三菱東京UFJの業務内容について詳しく聞かせてもらいました。銀行にはあまり興味がなかったのですが、今回の出会いがきっかけで銀行業界に興味を持つようになりました。課外学習としては、サマーオブラブの展覧会を他の生徒と一緒に見に行ったり、ホームレス支援のボランティアに参加したりしました。
留学を志す人へ	留学を志す人はまずは英語で授業を受けることに慣れてください。語学力を向上させることも大切ですが、英語での授業に慣れておかないと留学をしてから苦勞することになります。さらに言えば授業内で発言する機会があればできるだけ発言するようにしてください。留学先の授業では発言を求められるケースも多いので、授業内で意見を言える癖をつけておくと、留学したときに授業で発言を求められたときでも対応することができます。最後に毎日勉強をする癖をつけておくと留学先でもうまくやれると思います。留学では毎日机に向かうことになると思うので、今から習慣づけでおくといいと思います。留学は大変なところもありますが、その分得るものも大きいです。留学を志す人はぜひ頑張ってください。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	朝食	朝食	朝食	朝食	観光	観光	睡眠
	授業	授業	授業	授業	観光	観光	買い物
午後	授業	授業	授業	授業	観光	観光	友達と食事
	授業	授業	授業	授業	観光	観光	ジム
夕刻	ジム	散策	ジム	散策	観光	観光	自習
夜	自習	自習	コーヒーア ー	自習	ジム	ジムと自習	自習